

2016年3月23日

**電通、第19回アジア太平洋広告祭（ADFEST 2016）において、
「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」、
「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」、
「ダイレクト&プロモ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞**

第19回アジア太平洋広告祭（ADFEST 2016）^{※1}が3月16日から19日の4日間、タイのパタヤで行われました。同広告祭において電通のクリエイティブィティは高く評価され、単独の広告会社としては3年連続で「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」^{※2}と「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞すると共に、今回は「ダイレクト&プロモ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」にも輝きました。



アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤーの受賞シーン

電通グループ全体で、グランデ1、ゴールド10、シルバー18、ブロンズ19とブランデッド・コンテンツ・ロータス1を獲得し、合計49の賞を受賞しました。

（以下、数字は賞の数）

- ・フィルム部門（グランデ1、ブロンズ4）
- ・プレス部門（シルバー2、ブロンズ1）
- ・アウトドア部門（シルバー1、ブロンズ2）
- ・インタラクティブ部門（ゴールド1、シルバー3、ブロンズ2）

- ・ダイレクト部門（ゴールド2、シルバー2、ブロンズ1）
- ・プロモ部門（ゴールド1、シルバー1、ブロンズ1）
- ・デザイン部門（ゴールド3、シルバー4、ブロンズ5）
- ・プリントクラフト部門（ゴールド1、シルバー1）
- ・フィルムクラフト部門（ゴールド1、シルバー1、ブロンズ1）
- ・メディア部門（ゴールド1、シルバー3、ブロンズ2）
- ・ブランド・コンテンツ&エンターテインメント（ブランデッド・コンテンツ・ロータス1）

以 上

※1：アドフェスト（ADFEST）は 1998 年に創設されたアジア太平洋地域最大の広告祭で、世界でも権威ある広告賞の一つとされています。今年は 60 都市から 1,232 名が参加し、フィルム、プレス、アウトドア、ラジオ、インタラクティブ、モバイル、ダイレクト、プロモ、デザイン、プリントクラフト、フィルムクラフト、ニューディレクター、メディア、ブランデッド・コンテンツ&エンターテインメント、エフェクティブ、インテグレートッド、イノーバ、ロータスルーツの全 18 部門で、合計 3,112 作品のエントリーがありました。

※2：電通は 2011 年、2012 年、2014 年、2015 年に、電通グループのタプルート社（現タプルート電通、所在地：インド・ムンバイ市）は 2013 年に、それぞれ「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しています。